

## 令和4年度愛媛県産業教育研究大会 教育長祝辞

令和5年2月1日（水）  
にぎたつ会館

令和4年度愛媛県産業教育研究大会が、関係者の皆様の御出席の下、3年ぶりに対面で開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

本日、御参加の皆様には、平素より本県の産業教育の充実・発展に多大なお力添えをいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、長年にわたり産業教育の振興に力を尽くされた御功績により、表彰を受けられる皆様に、深く敬意を表する次第であります。

この春卒業予定の本県高校生の就職状況につきましては、常に高い水準で内定をいただいております、求人開拓や就職支援に御尽力いただいている関係者の皆様、また、本日お集まりの関係機関の皆様の御支援・御協力の賜物と、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

一方で、気になるデータがございます。ちょうど本日、本年3月卒業予定者の就職内定状況の1月末現在の速報値が上がってまいりました。内定率そのものは96.7%と昨年並みの高い水準を維持できており安心しておりますが、近年の就職希望者の減少幅が大きいことが気になっております。

具体的に申しますと、4年前の平成30年度と比較して433人、率にして22%減少しています。県内就職に限ってみれば、最近の県内志向の高まり（6.5ポイント増加）もあって、15%の減り幅にとどまっていますが、この間の卒業生全体が12%減という中で、就職希望者の減り幅が大きいのがお分かりいただけると思います。要因は進学希望者の増加ということです。これは、生徒数の減少で大学等への進学の門が広がったことが挙げられますが、もう一つ、子供を進学させたいと思う保護者の意向が強くなってきているとの現場の報告を受けております。

県教委や学校としては、生徒の自主的な進路選択の結果ということになりますが、県内の産業界にとってみれば深刻な問題であろうと思えますし、人口減少を抱える県としても、できれば県内にとどまってほしいと願うところです。

このような状況の中で、県教育委員会では、県立高校の全ての職業学科において、地域や産業界と連携して、専門分野の卓越した技術・技能を身に付けるとともに、地元企業への理解を深める「えひめ未来マイスター育成事業」などを通して、将来、地域産業を支える専門的職業人の育成に取り組んでおります。

また、来年度事業として、新たに高校生段階における地域課題解決プログラムの創設に向けた準備を進めています。これは、地元企業や大学、地域と連携し、地域課題の解決に向けて取り組みながら、県内企業を知る機会を提供することで、地域や地場産業に愛着を持ち、卒業後に地域社会で主体的に活躍できる人材を育成したいと考え

ております。

こうした中、地元特産品を町おこしに活用した取組みにより、内閣府の「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」での大臣表彰受賞や、「若年者ものづくり競技大会」などの全国大会での入賞など、今年度も、全国を舞台に多くの生徒が活躍してくれました。これらは生徒の頑張りのもとより、教職員の皆様の熱心な指導の賜物であり、大変心強く感じております。

また、現在検討を進めている県立学校振興計画においては、商業、工業、農業といった職業学科同士や、普通科とも連携した「学科横断的学習」を促進するなど、職業系学科の魅力化を目標の一つに掲げており、視野が広く人的ネットワークが豊かな地域人材の育成に取り組むこととしております。

今後も予想を上回るスピードで進む人口減少や技術革新に加え、アフターコロナ社会において、我が国の産業構造や仕事内容は大きく変化すると予見される中、地域産業の活性化は「産業教育の在り方」が、そのカギを握っていると思っています。

県教育委員会としましては、こうした変化を踏まえながら、引き続き、産業界や地域の皆様方との連携を一層深め、県内産業の発展に貢献する人材の育成に努めてまいりますので、御協力と御支援をお願い申し上げます。

結びに、本会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。